

平成30年度北海道大学大学院

文学研究科修士課程入学試験問題（後期）

| | |
|-------|---|
| 試験区分 | <input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生特別入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試 |
| 試験科目名 | <input type="checkbox"/> 専門試験（ 哲学・倫理学 ） <input type="checkbox"/> 共通外国語（ ） |
| 出題の意図 | <p>問題Ⅰは、受験者が、哲学的・倫理的な問題について論理的に筋道立てて思考することができること、ならびにそうした思考をするために必要な専門的知識を持っていることを確認することを目的とする。また、本問ではそのような自身の思考を、適切な日本語で表現する能力があることも確認する。</p> <p>問題Ⅱは、受験者が、西洋哲学史・倫理学史・現代哲学・現代倫理学の重要な概念について十分に理解していること、またそれらの概念について、適切に説明する能力があることを確認することを目的とする。</p> <p>問題Ⅲは、研究を遂行するにあたって必要とされる外国語について、十分な読解能力ならびに翻訳能力があることの確認を目的とする。</p> |

平成30年度
北海道大学大学院文学研究科修士課程入学試験問題（後期）
（専門試験） 哲学・倫理学 全5枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 5枚、解答用紙 5枚を配付する。

専門試験問題は、論述形式問題、事項説明問題、および外国語文献読解よりなる。

I. 論述形式問題

(1)、(2)のうちどちらか一つを選択し、解答しなさい。

II. 事項説明問題

出題された10問の事項説明問題から5問を選択し、それぞれを簡潔に説明しなさい。

III. 外国語文献読解

英語、ドイツ語、フランス語から研究に必要な外国語を一つ選択し、解答しなさい。

I. 論述形式問題

- (1) 人格の同一性について論じなさい。
- (2) 道徳の客観性について論じなさい。

II. 事項説明問題

- (1) 質料（ヒューレー）
- (2) アタラクシア
- (3) 超越概念（transcendentia / transcendentalia）
- (4) association of ideas
- (5) 悪しき霊（デカルト）
- (6) Aufheben（止揚・揚棄）
- (7) 自然化された認識論
- (8) 「人間は自由の刑に処せられている」（サルトル）
- (9) 力への意志
- (10) pro life と pro choice

Ⅲ. 外国語文献読解

【英語】 次の文章を読んで下線を引いた箇所を和訳しなさい。

- * 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学研究科教務担当の窓口で閲覧してください。

出典：Michael Dummett, *Logical Basis of Metaphysics*, Harvard University Press, 1991, p.1

【ドイツ語】次の文章全体を和訳しなさい。

- * 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学研究科教務担当の窓口で閲覧してください。

出典：J. G. Fichte: *Fichtes Werke*, hrsg. v. I. H. Fichte, Band I, Walter de Gruyter, Berlin 1971, S. 91-93.

【フランス語】 次の文章全体を和訳しなさい。

- * 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学研究科教務担当の窓口で閲覧してください。

出典: Maurice Merleau-Ponty, *Éloge de la philosophie*, Gallimard, 1989, p.14.